



新宿区登録有形文化財 歴史資料

もくぞうしちめんみょうじんはんかぞう くうでん

木造七面明神半跏像及び宮殿

所在地 新宿区西早稲田三丁目十六番二十四号

登録年月日 平成二十七年二月六日

亮朝院七面堂の本尊七面明神半跏像と像を納める宮殿である。七面明神像は、木造、寄木造り、像高は三十八センチである。正保四年（一六四七）に身延山久遠寺から遷されたものと伝えられる。宮殿は、木造、正面一間、側面一間、入母屋造りで、規模も大きく、建造物として優れている。ともに江戸時代前期から中期頃に制作されたものと推定される。



新宿区登録有形文化財 歴史資料

もくぞうみょうけんほさつりゅうぞう くうでん

木造妙見菩薩立像及び宮殿

登録年月日 平成二十七年二月六日

妙見菩薩立像と像を納める宮殿である。妙見菩薩像は木造、寄木造り、像高は二十七センチで、北斗七星を配した光背は上半分が欠損している。宮殿は木造、正面一間、側面一間、入母屋造りである。像は日本橋界隈から遷されたと伝えられており、宮殿の基壇には日本橋周辺の人物を含む六十一名の施主名が記されている。像に伴うと考えられる扁額には嘉永五年（一八五二）の年紀があり、この頃に制作されたものと推定される。



新宿区登録有形文化財 歴史資料

もくぞうすわだいみょうじんざぞう くうでん

木造諏訪大明神坐像及び宮殿

登録年月日 平成二十七年二月六日

諏訪大明神坐像と像を納める宮殿である。諏訪大明神像は木造、寄木造り、像高は三十三センチである。元は境内にあった諏訪社に安置されていたものである。宮殿は木造、正面一間、側面一間、入母屋造りである。像に伴うと考えられる扁額には文政十一年（一八二八）の年紀があることから、この頃に制作されたものと推定される。

平成二十七年三月



新宿区教育委員会